

議会 だより



令和8年 7月21日

いいだ市議会だより

IIDACITY-gikaidayori

No.247

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534



天龍峡八重桜街道さくら祭り(龍江)
～地域を彩る春の祭典～



第2回定例会 2P
委員会 3～7P
ズバリ市政を問う(一般質問) 8～10P
議員紹介ほか 12P

令和8年

第2回 定例会

5月29日
～
6月19日
開催

定例会のあらまし

第2回定例会開会日に、執行機関側から「専決処分承認を求めることについて（飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について）」や飯田市債権管理条例の規定により権利を放棄した市営住宅の家賃、病院料金、水道料金に関する債権放棄についての「権利の放棄について」等報告案件18件、「農業委員会の委員の任命について」など人事案件4件、「飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について」など条例案件7件、「損害賠償の額を定めることについて」など一般案件6件、「令和8年度飯田市一般会計補正予算（第1号）案」と「令和8年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案」の予算案件2件の議案の上程がありました。

これらの議案は説明を受けたのち、専決処分承認を求める報告案件と人事案件については開会日に承認及び同意をしました。その他の議案は所管の委員会に付託し審査を行い、閉会日にいずれも原案どおり可決しました。

議案第70号「飯田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について」では社会文教委員長の報告に対し反対・賛成それぞれの立場から討論があったため、起立採決となりました。

【反対討論】子育て支援の拡充は必要だが、財源を国民健康保険税に上乗せすることは反対。

【賛成討論】子ども・子育て支援金制度はすべての医療保険制度に適用する。公平性を保つためにも賛成。

また、議案第70号に関連する予算案である、議案第82号「飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案」の予算決算委員長の報告に対し、反対の意思表示があったため、起立採決となりました。

議案に対する質疑と審査

委員会での質疑等の内容は、各常任委員会のページで、その一部を紹介します。

請願・陳情

今定例会では、新規の請願1件及び陳情1件の審査を行いました。審査の状況は、各常任委員会のページでご確認ください。

【請願第1号】採択

国に対し、「さらなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書の提出を願いたい。（社会文教委員会）

【陳情第2号】不採択

まちづくり委員会に係る陳情 まちづくり委員会と地域協議会の関係を調査審査のうえ、地域協議会とまちづくり委員会との関係性を整理するに併せて、自主的団体（隣組）や個人・団体からの要請や要望が、議員、あるいは市の関係業務課へ直接届く仕組みを求める（総務委員会）

議員及び委員会提出議案

【発委第1号】更なる少人数学級推進及び教職員定数改善のための教育予算確保並びに義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出について

この議案は請願第1号が採択となつたことから、社会文教委員会の発議により、国会及び関係行政庁に対する意見書について委員会案が提出され、全会一致で可決しました。



定例会の本会議の議決結果や会議の様子は、飯田市議会ホームページ、YouTube「飯田市議会（中継）」でご覧いただけます。

飯田市議会ホームページアドレス
<https://www.city.iida.lg.jp/site/assembly/>



HP QRコード



開会日QRコード



閉会日QRコード

総務委員会

6月9日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

今定例会に総務委員会へ付託となった議案1件について、慎重に審査を行った結果、原案のとおり可決することに決定しました。議案審査における主な質疑の内容を紹介します。

議案第68号 飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について

【内容】地方税法等の改正により、固定資産税免税点の引き上げ等に関する規定について所要の改正をしようとするもの。

Q 暗号資産課税の新設について、施行日未定で令和10年1月1日以降の施行とのことだが、施行日未定の状況で条例を改正することについて、法的・実務的な問題はないか。

A 本改正は地方税法の改正に基づいたものであるが、地方税法自体も他の施行部分との兼ね合いにより、関係法令が未成立のまま法律番号を空欄とした状態で公布・施行される形態をとっている。一般的には国会で法律が成立し公布された時点で法律番号が付けられ、それに伴い条例内の空欄にもその番号が付けられることを法制部門に確認している。万が一、国会で法案が否決されたり、修正が加えられたりした場合には、速やかに改正条例の一部を改正する条例案を提出し、修正を図ることとしたい。

Q 暗号資産については、馴染みの薄い市民も多いと感じるが、実際に市内で暗号資産を保有し、申告を行っている市民はどの程度いるか。

A 暗号資産による所得は、雑所得として一括して申告されるため、内訳として暗号資産によるものを詳細に把握することはできていない。

陳情1件を「不採択」としました

《令和8年 陳情第2号》

(陳情者) 飯田市内 株式会社 章設計

取締役 熊谷 章文氏 ほか9名

【主な意見】陳情内容の「要請や要望が市の関係業務課に直接届く仕組み」について、現時点においては、市役所の担当部署へ来所や電話、インターネット等を使用して直接要請や要望を届ける仕組みは構築できている。

飯田市消防団本部と総務委員会の懇談

総務委員会では、飯田市消防団本部と6月15日に懇談を実施しました。

懇談では、飯田市消防団の組織概要、消防力の現況、分団別の実員数の推移など、消防団の現状について報告があり、消防団における主な施策等について、意見交換が行われました。



総務委員会が所管する事務事業の管内視察を実施しました

■実施期日 令和8年4月15日(水)

調査項目、視察先等

1. 西部霊園 合葬式墳墓 (伊賀良)
2. 飯田市消防団第17分団 本部詰所・車庫の整備 (上村)
3. 道の駅遠山郷 備蓄庫の整備・マンホールトイレ (南信濃)
4. お宿 銀の波 (松尾)
5. かざこし里山整備隊 円悟沢川竹林整備プロジェクト (羽場)
6. りんご並木のエコハウス FFC活動 (橋南)



マンホールトイレ



円悟沢川竹林整備プロジェクト

社会文教委員会

6月10日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

社会文教委員会へ付託となった議案9件について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決することに決定しました。議案審査における主な質疑の内容を紹介します。

議案第69号 飯田市休日夜間急患診療所条例の一部を改正する条例の制定について

【内容】飯田市休日夜間急患診療所の8月14日から8月16日までの昼間の診療を廃止するため条例改正を行うとするもの。

Q 施行日が令和8年8月1日だが、市民に対する診療体制の変更の周知はどのように行うのか。

A 飯田市のホームページで周知する予定である。

議案第70号 飯田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

【内容】令和8年度国民健康保険税の税率等を改定し、及び今年度から制度が開始される子ども・子育て支援納付金課税額を新たに定めるため条例改正を行うとするもの。

Q 国民健康保険税率の改定は、長野県の標準保険料率に近づけていくための改定ということだが、標準保険料率に統一される時期はいつか。

A 長野県では令和10年度に医療給付に充当する各圏域の納付金を統一する方向で進めている。

Q 子ども・子育て支援金制度が始まったが、今後国の情勢によって負担割合が上昇した場合の市の対応をどのように考えているか。

A 子ども・子育て支援金制度の負担割合が、今後少しずつ上昇することを現段階でも聞いているが、全ての保険制度に該当するものであり、国の方針に沿って進めていく。

【反対討論】物価高騰の中、市民は苦しんでいる。条例改正ではなく、基金や繰入金を利用し、一旦据え置くべきである。

【賛成討論】長野県の標準保険料率に寄せていく必要がある、先送りした場合その時点の市民に負担を求めることになる。それは非常に不公平である。飯田市国民健康保険運営協議会でも十分に審議され承認されていることから改定すべきである。

請願1件を「採択」としました

《令和8年 請願第1号》

(請願者)

飯田市内 長野県飯田市学校教職員組合
執行委員長 下沢孝司氏

【主な意見】すべてのこどもが行き届いた教育を受けられることを実現させたいという思いであり採択

◎採択により、議会議案 発委第1号として本会議に上程しました。※2ページ参照

4月17日に管内視察を実施しました

◆ 視察先 ◆

- ①ほっ湯アップル → ②松尾あかり保育園 →
③こども発達センターひまわり → ④上郷小学校
長寿命化改良工事 → ⑤追手町小学校授業参観
→ ⑥市立病院長との懇談 → ⑦南信濃診療所 →
⑧特別養護老人ホーム遠山荘



ほっ湯アップル



松尾あかり保育園

Q 昨今の物価高騰により市民が疲弊している。基金繰入金を活用して市民負担を軽減するような議論はあったか。

A 庁内の検討では、税率改定の先送りは市民に急激な負担増を求めることになることから、少しずつ負担を求めていくことが適当であると判断した。そのことは飯田市国民健康保険運営協議会でも説明している。

当分科会に分担となった予算案件は2件です。主な質疑の内容を紹介します。

《予算決算委員会 社会文教分科会》 議案第82号 令和8年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)案

産業建設委員会

6月11日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

今定例会に産業建設委員会へ付託となった議案3件について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決することに決定しました。議案審査の中での主な質疑の内容を紹介します。

議案第75号

損害賠償の額を定めることについて

【内容】昨年12月に発生した市道管理の瑕疵による損害について、賠償の額を定めるもの。

Q 市道の穴に敷設した鉄板が、通行した車両に跳ね上がり損害を与えたとのことであるが、敷設された経緯は。

A 地区住民の方が、善意で敷設したものである。

Q 事故を未然に防ぐためには、パトロールによる道路補修箇所への把握のほか、地区からも速やかに連絡を得る必要があるがどうか。

A 速やかに通報いただけるよう、地区の皆さんに協力をお願いする。

《予算決算委員会 産業建設分科会》 議案第81号 飯田市一般会計補正予算（第1号）案

技能者育成支援事業費について

Q 飯田高等職業訓練校の自動かん盤の設置は、職業訓練校における需要があるた

めの更新か。

A 訓練生にしっかりとご利用いただき地元定着と職人の育成につながるよう支援する。

二次交通構築実証委託事業について

【内容】長野県の宿泊税を活用し、中津川駅、昼神温泉、天竜峡駅、飯田駅等を結ぶ定期周遊バスの実証運行を委託するもの。

Q 広域周遊を促進する点で意義があるが、天龍峡を停留所に選定した理由は。

A 観光地の天龍峡を経路に入れ、3年間の実証実験から周遊の動脈を作る。二次交通は手段であることから、既存のコンテンツを面的につなぎ、ツアーなどに活用し、観光の目的地化を図る。

Q 天龍峡以外の観光地へ二次交通を拡大する考えは。

A 二次交通を活用した観光客の誘客を目的としており、関係する事業者や施設と連携して取組を進めるとともに、来訪者を市内に波及させていく必要がある。実証実験の結果を分析した上で、次の展開も検討したい。

Q 天龍峡の宿泊施設のキャパシティの点から経済効果の合理性は。

A 天龍峡の宿泊施設に関する新たな動向に加え、農家民泊の活用など飯田市全体に宿泊が及ぶ取組を進めたい。

Q 事業費の効率性から、南信州観光公社へ委託するより、バスの運行業者に直接業務委託する考え方はどうか。

A 二次交通は移動手段であることから、観

光客が訪れる目的を作ることが重要であると考えており、近年注目されているリジェネラティブ・ツーリズム（再生型観光）のツアー造成や、インバウンド事業者と連携したプロモーション、Web予約システムに対応可能な南信州観光公社に委託することを検討している。

Q インバウンド誘客にとって魅力的な目的地が必要となるが、ツアー造成の考えは。

A 南信州観光公社のツアー造成は30件ほどの実績があるが、地域の関係者にも関わっていただきツアー造成を考えていきたい。

Q 9月からの運行開始に向けた体制の構築は。関係者への周知のほか、8月には試行運行し、情報の共有を図り、目的地化も図っていく。

4月20日に管内視察を実施しました

◆ 視察先 ◆

①西の原市営団地（大休）→ ②妙琴浄水場 → ③天龍峡活性化センターあざれあ → ④金色洞川・祝井沢川内水排除整備事業（松尾）→ ⑤企業立地促進事業採択事業者 → ⑥リニア駅周辺整備（リニア駅前広場整備）



リニア駅周辺整備



内水排除施設

予算決算委員会

予算決算委員会、及び分科会における予算議案の審査の様子は、YouTubeで動画配信しています



本定例会では、議案第81号令和8年度飯田市一般会計補正予算（第1号）案及び議案第82号令和8年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案の2件が予算決算委員会に付託されました。6月8日に開催した前期全体会で総務・社会文教・産業建設の各分科会へ分担し、6月9日から11日まで審査を行いました。

6月18日に開催した後期全体会では、議案第82号について、議案に反対する立場から「子育て支援の拡充には賛成するが、財源を国民健康保険加入世帯、子育て世帯を含む市民に新たな負担を求めることから反対」とする討論がありました。一方、賛成の立場から「長野県国民健康保険運営方針に基づき、基準外の一般会計からの繰り入れを検討することは、その時点の市民へ大きな負担を強いてしまう。将来的に県内の保険料水準の統一や運営への安定化から賛成」との討論がありました。起立による採決の結果、原案のとおり可決しました。

また、令和8年度「議会による行政評価」を予算決算委員会の所管事務調査として実施することを確認しました。

分科会の審査の様子は、3ページから5ページまでの各委員会のページをご覧ください。

「議会による行政評価」について

「議会による行政評価」は、議会の議決すべき事項とした基本構想基本計画「いいだ未来デザイン2028」の進化管理に関与し、議会としての責任を果たす目的とし、予算決算委員会の所管事務調査として、基本目標ごとに評価・検証を行います。

また、「議会による行政評価」を「いいだ未来デザイン2028」の基本目標と連動し、4年間の政策サイクルで捉え、①初年度審査、②中間期審査（2・3年目）、③最終年審査の3段階に分けて審査を行います。

本年度は、前述②の中間期審査を実施します。執行機関側から令和7年度の取組達成度の説明を受け、評価検証し、新たな視点があれば来年度の取組に向けて提言として取りまとめます。

日 程		
事前準備	所管事務調査等における課題認識の共有	ステップ1までに実施
ステップ1	執行機関からの説明	7月21日(火)～22日(水)
ステップ2	個々の議員による評価	7月28日(火) 提出期限
ステップ3	分科会による意見集約	8月4日(火)、5日(水)
ステップ4	分科会での検討経過確認	9月1日(火)又は9月11日(金)
ステップ5	評価提言内容の取りまとめと執行機関との意見交換	9月14日(月)～17日(木)
ステップ6	提言内容の調整と全体会での確認及び振り返り	9月25日(金)、28日(月)
ステップ7	提言	9月29日(火)
ステップ8	次年度に向けた課題の検討	9月30日(水)
ステップ9	当初予算案の審査	令和9年第1回定例会
ステップ10	行政評価全体の振り返り	令和9年第1回及び第2回定例会

討論について

今定例会の「議案第70号国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について」及び「議案第82号飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案」に対し、委員会の議案審査、本会議での議案審議では、討論が行われました。

「討論」は、議案に対する議員自身の賛否の意見を表明するだけでなく、まだ賛否の意見を決定していない議員に対し、自己の意見に賛同させ、また反対意見を翻意させるために行うものです。

本会議における討論は、質疑同様、本会議2日前までに書面による事前通告が必要です。

本会議で行う討論は、議員の自席ではなく議長席前の演壇で発言します。

討論は、1つの議題に対し一人1回とされています。討論があった場合の採決は、委員会では挙手採決、本会議では起立採決となります。



閉会日 起立採決の様子

リニア推進 特別委員会

4月16日、4月23日、5月19日
及び6月15日に
委員会を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

リニア中央新幹線長野県駅（仮称）駅舎外 観デザインについて

4月16日に開催した委員会において、JR東海、長野県、飯田市の3者で駅舎外観デザインの検討の進め方について確認し、今回、長野県と飯田市からデザイン検討の参考となるキーワード・モチーフ及び要望事項をJR東海に提出する。今後、JR東海が複数の案を作成し、その中から地域の推薦案を決定し、JR東海に推薦案と要望事項を提出し、それを受けJR東海がデザインを決定するとの説明がありました。

Q 外観と内観のデザインの統一性はどのよう に確保されるのか。

A 外観が決定された後に、それに基づいた内観、機能、空間デザインの案が提示されるため、全体として統一感は一保たれる。

各会派からの意見集約

4月23日に開催した委員会において、駅舎外観デザインのモチーフについて、美しい街のイメージや住民が誇りに思える要素を重視し、以前の市勢要覧にあった『土の匂い』や『風の貌（かたち）』などの魅力を現代版にブラッシュアップしたらどうか。

要望事項の文章について言い回しを整えた方が相手に伝わりやすいのではないかと。

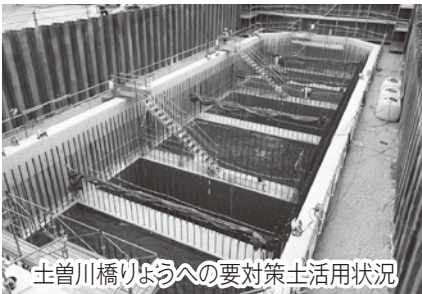
モチーフについては、信州・伊那谷が育んだ営みという部分に対して、より未来を想像できるイメージ、例えばグリーン水素の活用など今後の発展を創造できるような写真はどうかといった提案があり、これらを執行機関側へ示すこととしました。

修正した最終案について執行機関側からの説明

5月19日に開催した委員会において、県と市が4月末までに関係機関から意見集約を行い、修正した最終案について説明がありました。説明に対する質疑はありませんでした。

リニア中央新幹線工事における飯田市内での 要対策土の活用について

6月15日に開催した委員会において、土曾川橋りょうへの要対策土を厚さ1.5mの基礎内へ活用した工事状況の説明がありました。また、飯田保守基地への要対策土の活用については、JR東海から該当地区への説明会において、1年間の地下水の水位、水質、流向の調査結果を踏まえたうえで、要対策土の活用について検討したが、造成面から地下水面までの深さや設備配置計画を考慮し、要対策土は活用しないこととしたとの説明がありました。



土曾川橋りょうへの要対策土活用状況

Q 座光寺地域の中で、土曾川橋りょうには要対策土を活用し、一方で飯田保守基地には活用しないこととなった。要対策土を活用している地域へも、なぜ飯田保守基地では活用しなくなったのかという説明が必要ではないか。

A 今後、JR東海による飯田保守基地を含めた高架橋区間の工事についての説明会を行う中で、安全対策や要対策土を活用しないこととなった経緯を丁寧に説明してもらい、住民の安心につなげたい。

リニア駅前広場の管理・運営事業体の組成 に向けて

リニア駅前広場の活用の検討について、管理・運営を担う中核推進ワーキング、個別事業を担う個別事業ワーキング、事業を支援する協力支援ワーキングの3つのグループがある。今年の3月には、中核推進ワーキンググループの参加者を中心に、共同検討に係る協定を交わし、管理・運営事業体の設立準備会を設置した。今年度は、設立準備会により、将来的な全面供用を見据えながら、特に一部供用期間に焦点を当てた事業計画や体制づくりを進めていくとの説明がありました。

Q 個別事業ワーキンググループの枠組みに市民と事業者とあるが、現在の参加状況はどうなっているか。

A 現在は事業者が主体となつて議論を進めており、現時点で市民の参加はない。今後、事業体が設立されていく過程において、市民にどのような関わり方をしていただけるか、併せて整理をしていきたい。

「しごと発見イベント」の 在り方について

長谷部 春生 議員（会派きぼう）



A 「しごと発見イベント」は、小中学生とその保護者を対象に、地元企業を知る機会を創出し、地域産業への理解や愛着の形成を図ることで将来の人材確保へ繋げるものである。効果検証にあたっては、来場者数や参加企業数といった定量的なものだけでなく、アンケートを通じて興味関心の変化などの定性的なものも調査し、より効果的なイベントになるようにしていく。

Q 「しごと発見イベント」の目的・対象者と将来につながる検証方法は。

ズバリ！ 市政を問う

第2回定例会の一般質問の概要を紹介します。
(15名・質問順)

■は、そのほかの質問項目

一般質問の様子は
YouTubeで
動画配信しています



飯田市のデジタル発信体制 について

小平 彰 議員（新政いいだ）



A 地域コミュニティにおける役員の負担軽減が課題となる中、回覧文書の電子化の必要があると認識しており、今年度改定した飯田市行政DX推進方針において、組合回覧の電子化を含む文書の電子化への取組を明確に位置付けている。今後は電子化の対象となる文書の範囲や利便性の高い具体的な手法の検討を進め、その実現に向けて取り組んでいく。

Q デジタル化が進む中、必要な情報を必要な人に届けるため、電子回覧板の導入をどのように考えるか。

「ナフサ」の不足による 市への影響は

古川 仁 議員（日本共産党）



A 市指定のごみ袋の在庫は、卸売業者により十分な量が確保されている。原材料であるナフサ不足による製造コストの増加が懸念されるが、市民が不安から買いだめをしないよう啓発に努める。袋の素材やデザインの改良によるコスト削減として、早急なごみ袋の仕様変更は難しいが、安定した供給を維持しつつ、引き続き事業者と検討をしていきたい。

Q 市指定のごみ袋の在庫状況は。また、袋の素材等を改良し価格も下げてはどうか。

市民後見人制度活用促進への 課題は

宮脇 邦彦 議員（公明党）



A 成年後見人から申し出があった手続も、一般と同様の取扱いであり、その煩雑さについては認識している。市は現在、市民の利便性向上や職員の業務効率化を目指し、窓口業務の改善（フロントヤード改革）の検討会を立ち上げた。市から成年被後見人への郵送物を成年後見人宛てに一括して変更する手続とその仕組みについても、検討会の中で検討を進めていきたい。

Q 市から郵送する各種通知の送付先を、被後見人から後見人へ一括変更し煩雑な事務負担を見直しては。

飯田市民の健康と健診 について

片町 元彦 議員（会派きぼう）



A 個人から地域まで、これまで以上にきめ細やかな事業の推進をすることによって、生活習慣病の発症予防や重症化防止、要介護の防止などの予防活動をより一層推進するために健康づくり推進室を新設した。保健師が地域の実情に応じた支援を展開するとともに、健康づくり推進室が活動を統括することで、健康課題への迅速な対応や市民の健康意識向上を図る。

Q 健康づくり推進室を新設した目的と、期待することは何か。

「畜産業」の持続的な発展に向けた支援について

福澤 克憲 議員（会派きぼう）



A 生産者が安定的な生産ができ、意欲があれば規模を拡大できる、市民が安全・安心な食肉を適正な価格で購入できる、こうした環境を整えることが大事。そのためには、中長期的な視点から、食肉流通体制のあり方について、全ての畜産関係者による更なる議論が必要。引き続き「畜産振興検討会議」において、長期的視点に立った検討の必要性を、飯田市から訴えていく。

Q 県主催「畜産振興検討会議」において長期的視点に立った検討状況が見えていない状況。今後の方向性は。

身近に感じられる市政の広報のあり方は

岡本 恒和 議員（新政いいだ）



A 専門用語を避け、言い回しにも配慮しているが、若者への伝え方など、どのような人を対象にして伝えたいかを想像して工夫を重ねること、市民が親しめる広報を目指す。職員自身が持つ表現能力を磨き、市民が親近感を持てる親しみやすい表現を身に付けることが重要と考えている。そのため、庁内で職員対象の講習や意見交換の場を設けることから始めていきたい。

Q 情報環境の変化を踏まえた市政広報に求められる「親しみやすさ」「共感」の必要性和取組の考えは。

扇町公園にある蒸気機関車（D51）について

森本 紘司 議員（新政いいだ）



A D51の譲渡交渉中に、内部にアスベストの調査が必要であることが判明した。希望者は引き取る思いが強いので、調査結果を踏まえて引き続き交渉を続ける。万が一、交渉がまとまらなかった場合は、市民の安全を最優先に考え、市でアスベストを除去した後に解体し、撤去を行う方針である。地域住民の懸念を払拭できるよう、早期の実現を目指したい。

Q 譲渡希望者との協議状況は。

ダイバーシティ推進について

佐々木 博子 議員（新政いいだ）



A 公務職場では少人数で個別業務を担当することも多い。障がい者雇用の推進においては個別業務を細分化して一部を切り出し、その人の特性にあった業務の組立てを行うとともに、当事者及び職場を支援する体制の構築が必要である。今後さらに各職場の取組の共有化を進め、庁内全体の障がい者雇用の経験値を高めるとともに、当市にあった体制づくりを進めていきたい。

Q 庁内の障がい者雇用について法定雇用率未達成が続いている要因は。

介護保険財政と第10期介護保険料への影響は

市瀬 芳明 議員（日本共産党）



A 令和7年度末の介護給付費準備基金残高は現在11億円程度を見込んでいる。令和9年度の報酬改定は増額改定が見込まれるが、第10期の介護保険料を納付する高齢者の負担軽減を踏まえ、第9期に引き続き介護給付費準備基金の取り崩しを視野に入れつつ、第10期の保険料額の上昇を抑制できるように検討を進めてまいりたい。

Q 令和7年度末の介護給付費準備基金残高はどの程度を見込み、第10期保険料をどのように考えるか。

防災の現場における女性の参画支援について

岡村 弘子 議員（公明党）



A 女性や子育て世代の意見が災害時に生かされることは非常に大事である。今後は防災土育成事業等を通じて女性を含めた多様な人材の参画を促すとともに、これまで中心であった男性側の意識を変えていくことで全体として多様な意見が反映される環境をつくるのが大切と考える。地域全体で多様な視点を取り入れた地域づくりに努めたい。

Q 女性や子どもの視点を考慮した災害時に備えた女性防災人材の育成や活躍について市長の見解は。

■乳がんの早期発見について

飯田市立病院の経営に関する 今後の見通しについて

関 島 百 合 議員（会派きぼう）



A 導入費用は約1億5千万円で、維持管理費用は年間約1千5百万円を見込む。経営健全化への効果は、これまで他院へ紹介していた手術症例が導入によって当院で可能となるため、症例数が増加し、増収につながる。また、ロボット支援による手術は、外科領域における高度医療を担う病院では一般的であることから、医師確保の面で病院経営への貢献が期待できる。

Q 手術支援ロボット「hinotori」の導入による経営健全化への効果は。

移住対策について

正 木 利 幸 議員（新政いいだ）



A 都市部の若者や企業が地域と深く結びつき新たな生業の創出を行う取組である二地域拠点の交流が、共創人口となり、二地域居住という段階に進むことで、都市と地方が補完し合う新たな人材還流を生み出すことを目指している。こうしたモデルを構築することで、自分らしい生き方ができる地域という魅力を発信し、将来的な移住促進と地域の活性化に繋げていきたい。

Q 二地域居住について将来をどのように展望しているか。

飯田市の指定管理者制度の 現状について

野 崎 直 仁 議員（無会派）



A 指定管理者の選定は公募を原則とするが、地域づくり等への効果や施設の特長性を総合的に検討し、非公募も可能としている。現状、非公募が多いのは各施設の設置目的を重視した適切な判断の結果であり、制度運用上問題ない。非公募でも業務仕様書に基づき、公募に準じた客観的な評価を実施して、管理者の適格性を厳格に評価し、適正な運営を確保している。

Q 非公募の割合が多すぎるように思うが、この点に関してどう考えるか。

子育て支援の基本姿勢と 現状認識について

遠 山 雄 議員（会派きぼう）



A 市としても子育て世代への支援を最重要課題の一つと位置づけている。未来の地域を担う世代を育てるという観点から、保育、教育のみならず母子保健、福祉、地域づくりまでを含めた多岐かつ横断的な施策であり、重要な課題と認識している。

■保育園の無償化制度の運用と施設間格差について

■子育て支援の制度の柔軟性と選択できる環境づくりについて

Q 子育て世代に対しての支援は最重要課題の一つと考えるが市としてはどうか。

市議会の傍聴に関して

- * 毎回多くの市民の皆さまに市議会を傍聴いただき、ありがとうございます。
- * 傍聴は、本会議（開会、代表質問、一般質問及び閉会）だけでなく、各常任委員会（総務、社会文教、産業建設及び予算決算）及びリニア特別委員会も可能です。
団体での傍聴を希望される際には、事前に議会事務局までご連絡をお願いします。
- * 一般質問をはじめとした本会議や委員会は、動画配信サイトYouTubeでライブ配信するとともに、アップロードもしております。ぜひ、ご視聴ください。

定例会の閉会日（6月19日）に、上村小学校と和田小学校の6年生18人（先生3人）が、政治の仕組みを学ぶ学習の一環として傍聴に来てくれました。



令和8年度 議会報告・意見交換会について

議会報告・意見交換会は、飯田市自治基本条例に規定されている「開かれた議会運営」、また、「議会への市民参加の推進」を果たすための取組として位置づけ、市民の皆さんの声を政策づくりに反映していくことを目的としています。

今年度も各地区まちづくり委員会との共催により開催します。

今年度は3つの常任委員会（総務・社会文教・産業建設）が、それぞれ分科会のテーマを決めて市民の皆さんと意見交換をさせていただきます。

詳細は後日組合回覧や議会のホームページでお知らせします。

多くの皆さんのご参加をお待ちしております。



【各ブロック開催日程】(案)

※開催時間 19時から20時55分まで

期 日	ブロック	地 区	会 場
10月 5日 (月)	遠 山	上村・南信濃	南信濃地域交流センター
10月 6日 (火)	中 部	松尾	松尾公民館
	中 部	鼎	鼎公民館
10月 8日 (木)	西 部	山本・伊賀良	伊賀良公民館
10月 9日 (金)	北 部	座光寺・上郷	上郷公民館
10月13日 (火)	南 部	竜丘・川路・三穂	竜丘公民館
10月14日 (水)	飯田5地区	橋北・橋南・羽場・丸山・東野	市役所
10月15日 (木)	竜 東	下久堅・上久堅・千代・龍江	下久堅公民館

「出前講座」をご利用ください。

飯田市議会では、議会に対する理解や関心を深めていただくことを目的として「出前講座」を行います。

出前講座では、主に次の内容についてお話させていただきます。学校や団体、少人数グループの学習の場としてご利用ください。

◆出前講座の内容

- ① 議会の仕組み及び役割
- ② 国の政治と地方の政治の違い
- ③ 議会と市長の関係
- ④ 議会改革の取組
- ⑤ その他、議会に関すること

◆出前講座の実施が可能な日時

月曜日から金曜日の午前10時から午後9時までの間（但し、飯田市の休日は除く）

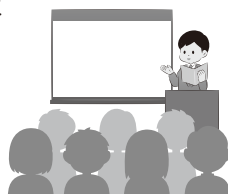
◆ご利用方法

出前講座を希望する2か月前までに所定の申込書を、飯田市議会事務局にご提出ください。

申込書は、飯田市議会ホームページからダウンロードするか、議会事務局へお申し出ください。

ご不明な点は、

飯田市議会事務局 ☎22-4523 にお気軽にお問い合わせください。



議員紹介

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。(議席順に掲載)



～ 遠山郷から前へ ～

かた まち もと ひこ
 片町元彦

私は遠山郷で、山肉専門店「星野屋」の4代目として生を受けました。先人たちが守り続けてきた味と心意気は、私の誇りです。そしてもうひとつ、大切な宝があります。動物文学の巨匠・椋鳩十先生(本名久保田彦穂)との交流です。幼い頃、一緒にお風呂に入り、並んで眠った記憶。今思えばなんとも贅沢な時間でした。「元彦」の「彦」も、椋先生からいただきました。今となっては懐かしい昔話ですが、この上ない温かい縁に、今も感謝しています。

先人たちの思いを胸に、遠山郷の豊かな未来への懸け橋となれるよう、力強く前へ進んでまいります。



～ 守ることが我が人生 ～

まつ おか ひで はる
 松岡秀治

私は身体を動かすことが大好きで、小学生の時に空手と野球を始めました。空手は強い人にあこがれ、野球はボールを取る守備が大好きでした。中学生になりサッカーを始めゴールを守るゴールキーパーを選び、社会人まで続けました。学生時代にはプールや海水浴場で人命救助を行うライフセービングを学び、やがて自然の中で人命を守る山岳救助隊を志しました。現在は樹木や森林を守りながら地域の方たちの暮らしを守る仕事をしています。飯田に住み25年が過ぎ自分の人生を振り返ってみると守ることを意識した人生であることに気付きました。これからも引き続き飯田市の何かを守っていくのだらうと思います。

議会の動き(予定)

■ 令和8年第3回定例会 傍聴にお越しく下さい。
 開会日9月2日(水) 閉会日9月29日(火)

◇ 一般質問
 9月9日(水)～10日(木)

◇ 委員会日程

予算決算委員会前期全体会	9月11日(金)
総務委員会	9月14日(月)、15日(火)
社会文教委員会	9月15日(火)、16日(水)
産業建設委員会	9月16日(水)、17日(木)
リニア推進特別委員会	9月18日(金)
予算決算委員会後期全体会	9月28日(月)

■ 議会への請願・陳情は、議会事務局へ
 8月19日(水) 午後5時までにご提出ください。

議会傍聴に際してのお願い

議場や委員会室に入る場合は、帽子、コート、マフラーの着用、傘の類の携帯はご遠慮ください。(病気その他の理由により会議への出席に必要と認められる物であって議長にあらかじめ届け出たものは例外となりますので議会事務局職員にお申し出ください。)

広報広聴委員会

委員長/関島 百合 副委員長/長谷部 春生
 委員/水月 レイ 森本 紘司 岡本 恒和 岡村 弘子
 野崎 直仁 松岡 秀治 市瀬 芳明

表紙紹介

がんばっとるに!! 龍江

天龍峡八重桜街道さくら祭り

天龍峡八重桜街道さくら祭りは天竜川治水対策でできた新しい道路、天龍峡桜街道に八重桜が植えられてから10年が経ったのを記念して、平成19年、日頃桜街道の手入れをしているさくら街道愛護会を中心に龍江地域づくり委員会、名勝天龍峡温泉観光協会、農業法人今田平の共催で始まり今年で20回になりました。

祭りでは龍江伝統の大獅子をはじめ、中学校の吹奏楽や小学校の金管バンド、地元サークルによる歌謡ショーなど多くの出し物や地元団体、キッチンカーによる出店、子ども縁日などが行なわれ、各地から多くの人々が訪れ賑わいをみせています。年々大規模になり、龍江の一大イベントとして定着しています。シャルルヴィル・メジェール通りと命名されている天龍峡桜街道は、八重桜の季節はライトアップ、冬にはイルミネーションと龍江の新名所になっています。

